

徴収猶予申請書

① 令和XX年7月1日

(宛先) 松本市長

納税義務者

住所(所在地) 松本市丸の内X-X-X

△△建設株式会社

氏名(名称) (代表取締役 ○○ 太郎) ②

法人が申請する場合は、代表者の住所、役職氏名を法人の所在地や名称の下にカッコで記入します。

電話番号 経理部 0263-〇〇-△△△△

地方税法第15条の2第1項又は第2項の規定により、次のとおり徴収猶予を申請します。

納付(納入)すべき徴収金	年度	税目	納税通知書番号	期別	納期限	税額	督促手数料	延滞金	計
	XX	法人市民税	1234567	確定	R4.X.△	50,000 円	円	円	50,000 円
	XX	固定資産税	9876543	2	R4.8.1	250,000	③		250,000
			合計			A ④ 300,000	B	C	300,000
	①A~Cの合計		300,000 円	②現在納付可能資金額	75,000 円	③徴収猶予を受けようとする金額(①-②)		⑤	225,000 円
該当条項	<input checked="" type="checkbox"/>	(地方税法第15条第1項第1号) 震災、風水害、火災その他の災害又は盗難 ⑥		<input type="checkbox"/>	(地方税法第15条第1項第4号) 事業につき著しい損失を受けた				
	<input type="checkbox"/>	(地方税法第15条第1項第2号) 納税者又は納税者と生計を一にする親族の病气・負傷		<input type="checkbox"/>	(地方税法第15条第1項第5号) 第1項第()号に類似する事実があった				
	<input type="checkbox"/>	(地方税法第15条第1項第3号) 事業の廃止又は休止		<input type="checkbox"/>	(地方税法第15条第2項) 法定納期限から一年を経過した日以後にその納付すべき税額が確定した				
猶予該当事実の詳細	⑦ XX年〇年△△日未明からの豪雨により、会社事務所が床上浸水し、事業用機械も浸水した。								
一時に納付(納入)することができない事情の詳細	⑧ 事務所の修理費や機械の修理費に200万円を要した。加入していた保険により120万円が保険対象となったが、残りの80万円の出費があり、納付が困難になった。								
猶予を受けようとする期間	⑨ 令和XX年7月1日から 令和X△年6月30日まで 12月間								
分割納付計画	回	年月日	金額	回	年月日	金額	回	年月日	金額
	1	XX・7・31	18,000 円	5	XX・11・30	18,000 円	9	X△・3・31	18,000 円
	2	XX・8・31	18,000	6	XX・12・31	18,000	10	X△・4・30	18,000
	3	XX・9・30	18,000	7	X△・1・31	18,000	11	X△・5・31	18,000
	4	XX・10・31	18,000	8	X△・2・31	18,000	12	X△・6・30	18,000 + 延滞金
担保	⑩ 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 担保財産の詳細又は提供できない特別な事情 猶予を受けようとする金額が100万円を超えないため。								

あてはまる理由に✓します。

猶予を受けようとする金額に応じて添付する書類に✓します。

⑫ 添付書類	
100万円以下の場合	100万円超の場合
<input checked="" type="checkbox"/> 猶予該当事実証明書類	<input type="checkbox"/> 猶予該当事実証明書類
<input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書	<input type="checkbox"/> 財産目録
	<input type="checkbox"/> 収支の明細書
	<input type="checkbox"/> 担保関係書類

最終回は「+延滞金」と記入します。